

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## ミャンマーに平和と民主主義を

大阪平和委員会は、5月29日大阪AALAとの共催で、「ミャンマーに平和と民主主義を」をテーマに学習会を58人(大阪平和委員会会場18人、オンライン40人)の参加で開催。上羽事務局長の開会挨拶のあと、山本陽子・新副会長が2015年夏休みに教職員団体でミャンマーを訪問した際にとった小学校の授業や黄金にかがやく仏教寺院などの写真を紹介したあと「ミャンマーのクーデターと私たちにできること」と題して報告しました。山本さんは、まずミャンマーと日本との歴史的なかわりについて報告。

◇戦前日本のビルマ支配のなかで警察(憲兵隊)や相互監視・密告社会(隣組)という負の遺産が残された。

◇1948年英国から独立。1988年大きな規模の民主化運動、国民民主連盟(NLD)結成、クーデター。1990年総選挙でNLD圧勝。2012年補欠選挙でNLD圧勝。2014年議長国に。

◇予想外のクーデターと市民



の抗議―2021年2月1日国軍によるクーデター。2月7日数万人の集会。3月27日(国軍記念日)国軍が抗議を続ける市民114人を殺害。4月24日ASEAN首脳会議が「暴力の即時中止」を要求。

◇日本政府とミャンマー―日本はミャンマーにとつて最大の援助国。2018年までに政府開発援助で1兆1368億円の有償資金協力資金(ODA)。政府は国軍の大規模な弾圧に懸念を表明。

山本さんは、最後にいま日本から出来ることとして次の点をあげました。

◇ミャンマー市民が生き延びるための緊急支援 ◇日本から国軍に流れている資金を止めること◇国軍と関係するODAを中止すること◇国軍との防衛協力の中止(国軍留学生6人が防衛大学校で研修中)◇国内に在留中のミャンマー人の在留期間の延長(日本政府は当面6カ月延長した)

次に、在阪のミャンマー人の小川モモウさんがクーデター時の凄惨な写真などを示すとともに、ミャンマー市民への支援を要請しました。最後に、西野敏恵大阪AALA事務局次長がミャンマー支援学習会II開催(6月27日)の予告と閉会の挨拶を行い、山本さんからモモウさんに4万円のカンパが手渡されました(上の写真)。

## 感想文多数寄せられる

◇考えられた企画、内容、あつという間の学習会でした。「若者が武装した軍隊に素手で立ち向かう―なぜそんなことができるのか。それは長年の軍政のもとでの民主主義への渴望」と聞いたことがあります。

今日の学習会で、日本で平和憲法を守り抜く大事さとともに、憲法を堅持した外交がアジア・世界平和に貢献することを再認識しました。

◇今朝のミャンマー企画は良かったですね。モモウさん!家族のことを思えば勇気ある活動です。心を揺さぶられました!山本陽子さん、日本との関わり合いについての説明が明解でした。

## 元気「9」の日「宣伝行動

憲法会議・共同センターは6月9日午後5時から6時まで淀屋橋で10名以上の参加で6月の「9の日宣伝」行動を実施しました。

コロナ禍のなか、参加者は道行く人に「9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名(三つ折り)」に「いのち最優先の政治に転換を」「オリンピックは中止し、コロナ対策に全力を」「基地反対運動を弾圧する『土地利用規制法案』を許すな」「改憲手続法(国民投票改定案)は廃案に」と呼びかけるチラシを挟み込んで手渡ししました。また、宣伝カーの前に6人の弁士が立ちマイクを通して訴えました。

民医連の釘宮事務局長は、「菅政権と維新府政の無為無策のため、医療危機が広がり続けている」、自由法曹団の愛須弁護士と上羽事務局長は、「米軍や自衛隊など『重要施設』の周囲1キロを『注視区域』に指定し、土地・建物の所有者や賃借人などを監視する『土地利用規制法案』は徹底審議で廃案に追い込もう」と訴えました。上羽事務局長はまた、「大阪には八尾駐屯地、信太山駐屯地・演習場の3施設があり、八尾駐屯地は八尾、大阪、松原、藤井寺、柏原の計5市、信太山駐屯地は高石、和泉大津、岸和田、堺市の計4市の住民がこの法案の対象となる。こんなとんでもない法案は廃案に追い込もう」と呼びかけました。憲法会議の三宅事務局長は、

行動後「いつもよりチラシをたくさん受け取ってもらえた」との感想を述べました。

## 6月沖縄連帯行動

大阪平和委員会は、6月15日正午から1時前まで近鉄上本町駅前前で沖縄連帯行動を11人の参加で実施しました。

大阪平和委員会の仲間9人と大阪のうたごえ協議会の仲間2人の計11人が、道行く人たちに「沖縄・辺野古新基地建設―遺骨が眠る土砂を使うな」と訴えるチラシを配りながら「戦没者の遺骨が埋まった土砂を辺野古新基地建設埋立に投入しないでください署名」を10筆集めることができました。

上羽事務局長とうたごえ協議会の立川孝信さんが、マイクを通して「菅政権は沖縄戦の犠牲者の遺骨が今も多数残る土砂を重機で掘り出し、米国のための基地建設に投入し、美しい海を破壊しようとしている」と訴えました。

「なんで日本は沖縄をいじめ続けるのや」と言って通りすぎたいったおじさんの姿が印象に残りました。





# オンライン全国大会で大阪大活躍

6月6日、日本平和委員会全国大会が午前10時〜午後5時までオンライン開催されました。大阪からは25人の仲間が参加しました。

岸松江・代表理事の開会挨拶の後、千坂純事務局長が「総括と方針」、岩月康範事務局次長が「決算と予算」の提案。その後、昼食休憩をはさんで2時間10分かけて全体討論（発言時間1人5分）。

大阪からは片方真佐子・日本女性委員会代表と上羽事務局長の二人が発言。

片方代表は全国都道府県組織の役員に占める女性の割合の一覧表を示して、大阪は2番目にジェンダー平等が進んでいることを報告しました。

上羽事務局長は次のように発言しました。  
—全国的な組織的後退の要因のひとつは、コロナ禍の中、団塊の世代が終活をはじめていて平和委員会もそのリストに載せられていること。終活の対象にならないためには、会員、読者の「平和であってほしい」という要求にこたえる組織であることが求められる。

大阪は、会員、紙誌読者の3部門とも増勢で大会をむかえることができた。  
その要因は、次の点だと考える。

コロナ禍のなかでも情勢が求

める課題を敏感にとらえた学習会や行事を単独でやらず他の団体と一緒に実施。

昨年末70人以上が参加した学習会をオンラインで実施。3月7日300名が参加したフードバンクを実施。5月29日に55名が参加した「ミャンマーに平和と民主主義を」オンライン学習会を実施。

これらの取り組みの中で会員を4人増やした。午後の分科会は5つに分かれての実施となった。

## 大会参加感想文紹介

### 【西見会長】

基地問題、中国問題、台湾問題、安保、自衛隊基地、地域運動を議論する分科会でした。末浪靖司さん、平山武久さんもおられました。偶然ここに入ったんですが、大変勉強になりました。

### 【中村玉枝副理事長】

全国大会お疲れ様でした。大阪が元気で、何かと貢献出来たようですね。これは、会長や理事長、事務局長たちの尽力もふくめて、ジェンダー平等を推進する絶大な効果だと思えます。

### 【集団視聴した東住吉】

○植田晃子東住吉会長：皆さん、大会参加お疲れ様でした。やっばりみんな頑張ってますね。元気の

でる大会でした。コロナのおかげでしょうか？平和委員会の大きさ、あらためて痛感したところ。大会又々お世話になりました。ありがとうございます。頑張りました。

○山本のり子副会長：後半少しの参加でしたが、コロナ禍でも工夫を凝らしながら取り組んでいる全国の活動に元気を貰いました。（東住吉視聴参加者の）皆さんといろいろ交流しながら見れて楽しかったです。

○黒田安彦事務局長：全国の仲間と情勢・課題・取り組みなど共有でき、元気をもらった。何よりも千坂事務局長の力強い報告が良かった。

・川田さんの「平和委員会の役割」（写真左）良かったが、20分位の特別報告にしても良かったのでは。

・分科会での山本さんの徳島での「土地利用法」阻止の取り組み良かった。おそらく全国でいち早く基礎組織の平和委員会が取り組んだ例だと思います。今後も励まし評価してあげてください。

### 【吉田一江事務局次長】

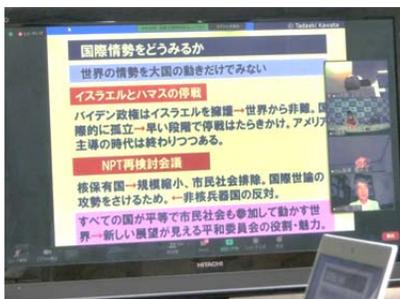
石川康宏代表理事が閉会の挨拶で話された「押し付けでなく、一緒に学び、いろんな取り組みと一緒に参加、女性がたくさん参加すると運動の質が変わる。市民と野党の共闘で衆議院選挙で勝利し、平和な社会を築いていきましょう」はとても心に残りました。

## 「6・9行動」に貢献

大阪原水協は、6月9日正午より近鉄上本町駅前前で6月の「6・9行動」を13人の参加で実施。コロナ禍のなか「3密」を避け署名集めには力点を置きませんでした。それでも「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」が5筆寄せられました。

この行動にはいつも通り大阪平和委員会からも多数参加し、署名集め、チラシ渡しを行いました。

コロナ禍のなかですが、6月30日から府内行進が始まります。元気に歩きましょう。



### 【7月行事案内】

- 1日(木) 国民平和行進二日目 河内長野〜松原
- 4日(日) 母親大会 伊藤千尋氏講演 13:00 クレオ大阪中央
- 7日(水) 国民平和行進兵庫引継ぎ 12:20 川西市役所「核兵器禁止条約日本政府も署名・批准を」新聞意見広告掲載
- 9日(金) 憲法会議「9の日」宣伝 17:00 淀屋橋
- 11日(日) 青年協総会／沖縄県那覇市議選挙投票日
- 15日(木) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 21日(水) 憲法会議幹事会 18:30 エル大阪南館72号室
- 24日(土) 天王寺戦争展 10:30 大阪市社会福祉センター
- 31日(土) 憲法会議総会 13:30 グリーン会館大ホール

### 今月のことば「直接的関わりの尊さ」

コロナ禍にもみこまれながら見失っているものがありはしないか？それは、人や動物や物との手触りや温もりや匂いをともなう直接的関わりの尊さである。「社会的距離」やリモート通信の間接性は、あくまで感染予防のためなのであり、人間同士の交流としては最悪の方法と言わなくてはならない。

「コロナ時代のパンセ」—戦争法からパンデミックまでの7年間の思考—辺見庸著 毎日出版社